



4力所で 防災訓練

比角地区160人

比角コミュニティ運営協議会(多田哲雄会長)は震度6強の地震発生を想定した防災訓練を同コミセン、小中学校など4会場で行った。避難所運営マニュアルに基づき、避難者の受け入れのほか、段ボールベッドの組み立て、バッククッキングなどに取り組んだ。防

災委員を含め約160人が参加した。

会場の一つ、田塚3のワ

ークプラザ柏崎では非常食や簡易トイレなど防災用品展示も行った。参加者も体

験したポリエチレン製のシート担架は重さ730gと

軽く、使わないときは丸めてコンパクトになる。

地元消防団員で防災士の田辺英里さん(49)は先月下旬の訓練で、車に常備して



シート担架で負傷者役を運ぶ参加者(ワワークプラザ柏崎)

いる非常持ち出し品を紹介。その中で緊急用トイレ、低体温対策のアルミシート、レインコートなどは100円ショップでそろえられるとした。避難のポイントとして「全ての栓を閉じ、自宅に施錠すること。浸水時には長靴ではなく脱げない紐のソックスを履く。単独で避難するのではなく、隣近所と声を掛け合い団体行動を」と呼び掛けた。

夫婦で参加した三和町の星野靖彦さん(53)は「いろいろ役立つものばかりで勉強になった。シート担架は持ち手の穴もつかみやすくて、軽くて女性だけでも搬送できる」と話した。

多田会長(69)は「4力所開設は久しぶり。防災委員も代わるので、こうした体験がまた次につながる。コミセン活動を通して顔見知りになることで助け合いが生まれる。避難所運営には大事なこと」と話した。